



伊勢市教育研究所

たより



<第 10 号>

<http://www.ise-mie.ed.jp/~kenkyusyo>

E-mail:kyo-kenkyu@city.ise.mie.jp

令和 3 年 1 月 2 9 日

伊勢市教育研究所

伊勢市小俣町元町540番地

中島小学校 教育研究プロジェクト委託事業

〔今日的課題の活用に係る実践研究〕

公開授業研究会

音楽科 『音や音楽と豊かに関わり、表現する楽しさを

生活の中に生かせる音楽教育をめざして

～主体的に表現し、協働しながら学びあう音楽活動を通して～



1月21日(木) 今日的課題に係る実践研究を委託させていただいている中島小学校にて、オンライン形式の公開授業研究会が開催されました。

今年度、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、音楽の授業においても様々な制約があり、そのような中で「どのような実践ができるのか」「どのような指導が有効であるのか」などについて研究に取り組んできた 木村 真澄 研修員(授業者)による研修報告を兼ねた研究会でした。研究会には、本プロジェクトに関わっていただいている皇學館大学教育学部 高橋 摩衣子准教授をお迎えし、示唆に富むご助言をいただきました。また、参加者の方からは多くのご質問、ご意見・感想をいただき、大変有意義な時間となりました。(なお、木村研修員の報告は、高橋先生よりいただいたご助言も含めまして、2月発行の「しょほう」において報告させていただきます。)



【研究主題にせまるための方法や手だて】

- ・タブレット端末を活用した授業
- ・日本の伝統音楽の鑑賞の充実
- ・グループ活動を授業に取り入れ協働して学習する場の設定
- ・ICT 機器の効果的な活用
- ・ふりかえりシートの活用



【高橋准教授より】

ミュージッキング = 「音楽すること」

音楽を「コミュニケーション」としてみようという考え方。演奏を聴く人もミュージッキングの状態である。演奏している児童だけでなく、鑑賞している児童もまた、音楽を聴くことで、演奏者の動きを見たりすることで音楽に参加している。



参加者の感想より（一部抜粋）

- ・コロナ禍での音楽の授業について、授業の進め方や評価の仕方について、悩むところも多くありました。高橋先生から、演奏を聴いた人が感じ考えること、それを言葉で演奏者に伝えることが、音を介した会話であり、心の中、頭の中の動きを丁寧にとらえていくことが音楽における主体的対話的学びであると教えていただき、今後授業を進めていく中での大事な柱をいただいた思いでいます。
- ・各班が自分たちの作った『音楽』を大切にし、工夫して題名を考え発表をしているところが素敵だなと思いました。制限がある中でも、子どもたちが主体的、対話的で深い学びができるような工夫がされていて、このようなときだからこそ『音を表現する喜び』を示していただいたように思います。
- ・今年度は、どのように授業を進めていけばよいのか、大変悩みました。中でも、音楽づくりは私には難しい分野ではありますが、子どもたちが、自分の思いに沿って、自由に楽しんでいるところがよかったです。
- ・ICTの活用がいろいろな場面で有効に働いていたと思います。ロイロノートを使ってリズムづくりの工夫したところやリズムの楽譜が電子黒板に映されていたことで、みんなに共有できていたと思いました。
- ・ICTが活用できるなかでも、「本物にふれる」ことの価値は大切にしていきたいと感じました。あくまでも「本物」を大切にしながら、ICTをどのように活用していけるか、ICTの活用にあふさわしい場面はどこかなどを模索していかなければならないと思いました。



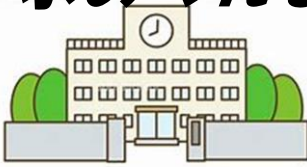
GIGA スクール構想の実現に向けた教職員対象研修会

「ポストコロナ」の学びを描く

令和3年1月8日（金）
オンライン形式で開催

求められる ICT 機器活用に係る

意識改革！！350名以上参加！！

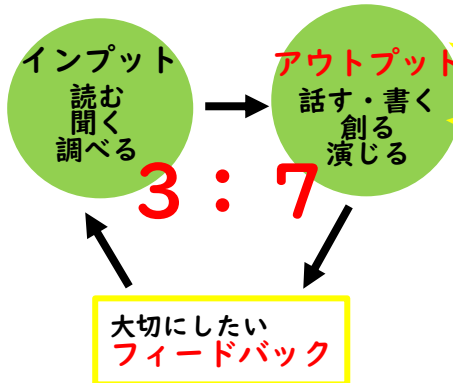


1人1台端末整備という、かつてない変化の中、取り組むべきこと、意識すべきことについて、平井聡一郎さんをお招きして研修会を開催しました。

これからどんなことができる
なければならないのか？

必要なスキル

コミュニケーション
(自分で考えたことを文字や
文書でアウトプットする力)
クリエイティビティ
(ものを創り出す力)
スペシャリティ
(高度な知識・技能)



つべこべ言わず
やってみろ！

(by 平井 聡一郎)

学ぶ内容に応じた
学び場所の多様化

1人1台のタブレット
オンライン・持ち帰り

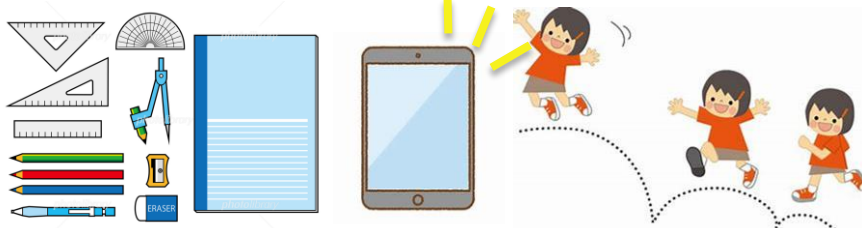


【講師紹介】平井 聡一郎 さん

・文部科学省 ICT 活用教育アドバイザー

茨城県の公立小中学校で教諭、中学校教頭、小学校校長として勤務、その間、総和町教委、茨城県教委で指導主事を務める。教育委員会で参事兼指導課長として、全国初となるセルラー型タブレットとクラウドによる ICT 機器環境の導入を推進。地方からの教育改革を目指し、ICT 機器整備のコンサルティング、教員のためのプログラミングセミナーの開催等、全国で精力的に取り組んでいる。

研修会終了後のアンケート結果からは、満足度**98%**、「学んだことを実践に活用できますか」という質問に対して「できる・どちらというところ」で答えた人の割合は**92%**という回答結果を得ることができました。前向きに子どもたちのために積極的に取り組んでいきたいという多くの感想がある中、活用方法等への不安の声もいくつかありました。教育研究所は、今後も、学校現場で ICT 活用をする上で必要なスキルアップの研修会を始め、教職員の皆さまの支援に取り組んでいきます。



参加者追加募集中
研修講座
「ICT を活用した授業デザインオンライン研修」

詳細は研究所までお問い合わせください。

to be continue